鷹ノ巣山山行

日時　平成24年5月6日

場所　東京都

参加　4名

朝早かったので3:40起床、4:55に一番電車で出発。奥多摩は遠い。結局9:28に到着した。9:35発のバスで日原に定刻通り東夷着。休日なので臨時バスが１台増強され２台運行であった。バスは満席、立席の客もいた。天気は良好。朝方曇り空であったが次第に天候は回復してきた。9:15予定通り登山開始。登りはかなりきつい坂が続く。山道は整備されていてとても快適だ。登り始めて約2時間のところで急に遠くの方で雷鳴が聞こえてきた。見る見る内に雲が厚くなり急に激しい雷雨と変わった雷鳴も著しく、風も強く、登山続行の不安さえ感じた。3名の意見は下山した方が良いのではとの意見であったが、私はこの雷雨はすぐに行き過ぎるとは判断し、しばらく様子を見ようと提案し、しばらく留まった。15分ぐらいして、雷鳴は遠くなり風雨もおさまってきて、空も明るくなってきた。ほんの15分の嵐であった。下山しなくてよかったと思った。天候が回復したので登山を続行した。そのうちに海堀さんが太ももに痙攣が起こり、ヨチヨチ歩きの状態となった。それでも何とか登山を続行することが出来そうであったので登山を続けた。ヒルメシクイノタワで昼食をとり約20分で出発。13:00近くに頂上に到着。頂上は誰一人もいず珍しいことであった。風が強く、見晴らしも今一つであったので10分ぐらいで頂上を後にした。下山を開始して間もなく佐藤さんの足に痙攣は発生、最少は右の太ももに発生したが、そのうちに左足の方にも痙攣が発生した。サポーターを巻き何とか歩けるということで下山を続けた。下山の半分ぐらい来たところで予想通り再び雷雨に遭遇。今度の雷雨は短時間で過ぎ去ることはなく下山中ずっと降り続けた。雷鳴も激しく、風も強く厳しい下山となった。予定より20分近く早く峰谷のバス停に到着した。雨が激しいので空き家の軒先を借り服の着替えを行い、しばらく軒先で雨宿りをした。しばらくするとバスが来たので速やかにそれに乗車し、雨をしのいだ。反省会は立川駅の「いろはにほへと」で行った。帰宅は20時頃となった。